

思ひ草

第31号

令和2(2020)年1月22日 発行

発達障害のある児童生徒には「特別支援」よりも 「ナチュラルサポート」が大切

人間開発学部教授 わたなべ 渡邊 まさとし 雅俊

我が国はインクルーシヴ教育の実現に向けて、特別支援教育を中心に歩みを進めています。しかし、通常学級のなかで発達障害児を指導することは、教員に新たな負担を課すこととなります。特別な教育的ニーズを有する児童のために、授業中に個別の対応を行えば、授業の進行に支障をきたすこととなります。教員は、この時間を補うために、授業の計画を練り直さなければなりません。これは、今、通常学級の教員が抱える共通の悩みの一つと言えるでしょう。

大学の教職課程や現職の教員研修では、発達障害児に対する個別の対応の方法を学ぶ機会も増え、教員の特別支援教育の専門性を高めることを解決策として推奨しています。特別支援教育を理解することは大切です。しかし、多くの仕事を抱えながら明日の授業のことで悩む教員にとって、障害特性や一般的な支援方法の知識を日々の実践に生かすことは難しい現状があります。

では、どうすればよいのでしょうか。私は、学級の仲間

関係を活用した支援をお薦めしています。私の研究では、同級生のなかに発達障害のある児童生徒に無関心であったり、意図的に距離を置いたり、嫌がらせやからかいといった不適切な関係を形成する者がいる一方、友人として認めていたり、困難を理解し手助けしたりする同級生が存在するといった実態が明らかになりました。

後者のような、専門性に基づいているわけではありませんが「仲間が困っているようだから、自分の判断で、できる範囲で助ける」といった関わりをナチュラルサポートと呼びます。学級のなかで、教員が頑張らなくても、目立たないけど困難を抱える仲間を助けている児童生徒がいるのです。このようなナチュラルサポートを行っている児童生徒の存在が発達障害児を含む学級経営の鍵になると思われます。教員が個別に対応するだけでなく互いに助け合う学級規範が作り出されることで、発達障害児を含む児童生徒の成長が促されると期待されます。

絵を描くこと

人間開発学部教授 しまだ ゆきこ 島田由紀子

「どうしても上手く絵が描けるようになりますか？」と絵に苦手意識を持つ学生に尋ねられることがあります。上手く描けるように＝本物そっくりに描く、ということを目指しているのだと思うのですが、本物そっくりに描けるようになるにはトレーニングを積み重ねるしかありません。マグカップなどシンプルな形で硬い質感の身近なモノを描くことから始めるのもよいと思いますし、右脳で描く方法や、描く順番や色の使い方を法則化したメソッドに沿って練習するのもよいでしょう。上手に描く方法については、さまざまな方法が本やネットでも紹介され、とても有効であると考えられている描き方もあります。

一方で、写真が身近になり、パソコンやスマートフォンがこれほどまでに発達した今日、本物そっくりに描くことの意味がどこにあるのか疑問に思うこともあります。絵を描く楽しみが、本物そっくりに描くこと、にあるひとつとしては、とことんつきつめて絵によって再現性を高める、本

物そっくりに描く技術を身につけていくとよいと思います。が、上手な絵が必ずしも本物そっくりに描いた絵とは限りません。また、自分にとって心地よい絵、描き方、というものもあるでしょう。

自分の思いや考えを自分の言葉や文章で表現することができるように、自分の表現したいことにふさわしい色や形を選んだり組み合わせたりする表現の楽しさや面白さを感じられるようになると、本物そっくりに描くことだけにこだわらなくなるように思います。

好きなように自由に絵を描くことが楽しめたり、描かなくても好きな絵をみつけられるようになったりすると、生活も大きく変化していきます。普段目にするモノの色や形、素材の持つ質感にも興味が広がり、たとえば持ち物や洋服の組み合わせを考えることがとても楽しくなります。年齢を問わず絵を描くことを、自分を表現することや日々を楽しむことのひとつとして、取り入れてみましょう。

教育実習

教育実習の思い出

健康体育学科教授 林 貢一郎

二十数年前、私は出身の中学校で教育実習をさせていただきました。科目は保健体育です。大学の授業で指導案を作成し、模擬授業も経験して、教育現場での実習に臨んだわけですが、実際には自分の未熟さを思う存分知ることとなりました。実技の授業で、教科書に書いてあること以外はうまく伝えられなかったことを覚えています。ただ毎日、目の前の生徒と指導案に向き合うだけでした(穴もないグラウンドに自分ひとりでバレーボールのネット張っとけと言われて小一時間考えたこともあったな...)。

保健の授業では、「喫煙と健康」についての授業を担当しました。授業自体のデキは良かったのですが、授業の終わりにされた「なぜタバコを吸うと肺ガンになるんですか?」という中学生の素直な質問に、当時の私ははっきりと答えることができませんでした。またまた未熟さを感じるとともに、「なぜ?」と考えることの大切さを学びました。

いま私は、スポーツ生理学を学生の皆さんと共に勉強しています。これは、スポーツや運動によって生じる身体の反応や適応の「目的」と「メカニズム」を探究する学問です。いつも「なぜ?」を考えています。ヒトの体の仕組みを研究する学問分野では、すぐに現場に役に立つ応用研究と役に立つまでに時間のかかる基礎研究があり、どちらかというところでは応用研究が望まれるのが現状かもしれません。しかし、これは非効率的なのかもしれません。肺ガンが発症するメカニズム(なぜ?)がわからないとガンに効く薬は作れないからです。ガン細胞の増殖を考えるなら、正常な細胞はどのように分裂して増えるのか?という疑問がわいてきます。そういった意味では基礎的な研究もとても重要でしょう。学生の皆さんの大学生活でも同じことが言えるかもしれません。「意味がねえ」とか「役に立たん」とか言わずに、少し視野を広げて、「なぜ?」を思考すると大学の授業がもっと面白くなりますよ。おススメします。

学び続ける姿勢の大切さ

健康体育学科3年 西川 利哉

中学校の保健体育科教師になりたい私は、入学以降「運動が苦手な子どもたちへの指導法」をテーマとして大学生生活を過ごしてきた。これまでの大学生活においてその答えを見つけれずにいたが、たった3週間の教育実習を通して自分なりに納得できる答えを見つけることができた。

私たちの世代も含め、現在の子どもたちは運動能力が低く、体力の低下も著しいと言われている。実際に、実習を通してその現状を目の当たりにしてきた。そんな中、子どもたちの体力を向上させ、運動好きな子どもを増やすために、「運動が苦手な子どもたちへの指導力」が体育教師に求められる資質・能力の一つになっている。

運動が苦手な子どもたちの技能をどのように向上させていくかについて教員の十分な指導力は欠かせない。しかし、3週間の実習を経て、それよりもきちんと寄り添うことが大切であると実感した。なぜならば、中学生の子どもたちにおいては、技能の高低よりも取り組む姿勢の方がはるかに重要であるからだ。実習中の体育の授業では、生徒たちにねらいを何度も意識させ、全員が達成できるよう、なるべく一人ひとりにアドバイスしてきた。そうして、授業の初期では上手くできなくても全力で取り組もうとする生徒に寄り添い続けた結果、ねらいを達成しようと真剣に取り組む生徒がさらに増え、より深い学習へと導くことができた。

運動が苦手な生徒は、他人よりも自分が劣っていると自信をなくしがちである。しかし、体育の本質は仲間と関わり、喜びを分かち合いながら種目の特性に触れること、そして、そのためにねらいを達成し学習を深めていくことにある。運動が苦手な生徒でも、その本質を理解し学習を深めていくことで、自信を持って楽しく取り組むことができる。また、その中で生徒たちは種目の特性に浸り、次への意欲に繋がっていくと考える。将来教師になったら、運動が得意な生徒から苦手な生徒まで全員が楽しいと思えるような授業を目指すとともに、そのための指導法を生涯学び続けていきたい。



教育ボランティア

宿泊体験学習の指導員

初等教育学科2年 棚網 夏那

私は今回、世田谷区の小学校の移動教室に補助員として参加させていただきました。そこでは児童とも多く関わりながら主に裏方の仕事をしました。実際に現地ではわからないことが多く、先輩補助員さんに教えていただきながら一緒に仕事をしました。小学生の時に想像していた仕事量の倍はあり、今回経験したことにより多くの人の支えがあったことに気付くことができました。今後教師を目指す私にとってとてもよい経験になりました。

保育補助

子ども支援学科3年 原田 真実

私は千代田区立麴町幼稚園でボランティアをさせていただいています。週一回、午前中は保育に入り、午後は教材準備等のお手伝いをさせていただいています。先生方の保育から私は子ども一人一人への声掛けの工夫を具体的に学ぶことができました。また、子どものイメージや「やりたい」という気持ちが膨らむような環境を作ることや、子どもたちの遊びが充実し広がるような働きかけが大切であることを実感しました。現場で学べる機会をいただけることに感謝して、これからも学びを深めていきたいと思っています。

外国につながる児童支援

初等教育学科4年 小林 萌

横浜市立の小学校において、外国につながる児童支援ボランティアに参加させていただきました。宿題を一緒に取り組む中で、母校以外の子どもたちとの交流や、言語のみではなくジェスチャーや実演を用いてのコミュニケーションの大切さなど、大変多くのことを学ばせていただきました。

4月より実際に教師になった際にも、子どもたちと豊かなコミュニケーションが取れるように、常日頃から意識していきたいと思っています。

共に創った運動会

初等教育学科3年 北川 周

私は、肢体不自由部門の特別支援学校が同じ敷地内に併設されている小学校で運動会の補助をしました。

日頃から両校の児童が行き来し、授業や休み時間などで交流が盛んに行われており、運動会でもいっしょになって競技に参加していました。そこには勝ち負けとはほど遠いあたたかさがありました。障害に対する偏見を全く持たず、ごく自然に関わりあう子どもたちの姿を間近で見て、関わりあう機会の重要性を学びました。

なしかちゃん広場での活動

子ども支援学科4年 小川 靖乃

なしかちゃん広場は、青葉区にある様々な保育園の先生方が協力し、地域の子育て家庭との時間を楽しむ広場です。魚釣りやパネルシアターなど様々な遊びが用意され、保護者が保育士と普段のちょっとした悩みを話せる場にもなっていました。働く園は違っていても保育士が皆で地域の子育てを考え、一緒に子どもたちを育てていくことの大切さを学ぶことができました。

来年度から保育士として働く上で、私も青葉区の保育士の方々のように、地域の子育てを支える存在になりたいと改めて思いました。

夕涼み会の運営支援

初等教育学科3年 染谷 美月

私は新石川小学校の夕涼み会に二回参加させていただきました。主に学生は会場準備や片付け、屋台の手伝いをします。小学校で行われる地域のお祭りに、同じ地域の学生として自主的に関わることは重要なことだと思います。しかし、それだけでなく実際に様々な人と関わり協力していく中で、人と人とのつながりの温かさを感じました。これは、日頃の授業ではなかなか学べない大切なことです。そして、そんな中で見る花火は私にとって特別でした。今年も参加したいと思っています。

教育インターンシップ連絡協議会・報告会 経験からの学びをつなぐ！

12月25日(水)、教育インターンシップ連絡協議会・報告会を開催しました。全体会では、成田信子学部長から、教育実習前の貴重な経験としての教育インターンシップの意義についてお話がありました。その後、令和元年度教育インターンシップの全体的な実施状況の報告に引き続き、学生の実習報告と学校や幼稚園の先生方からの実施状況報告がありました。幼稚園実習について子ども支援学科2年の関塚由佳乃さん、小学校実習について初等教育学科2年の齊藤梓さん、中学校実習について健康体育学科2年の今井修吾さんが、インターンシップの経験や学びをもとに報告をしました。学生の「子ども一人一人の思いを受け止め信頼関係を築くこと」「教科書通りでなく子どもにあった指導を考えること」「先生と呼ばれる立場を経験し教員になる意識の甘さを感じたこと」等の言葉から、それぞれの学びが伝わってきました。

各園や学校の実施状況について、川崎市立犬蔵小学校校長の秋本和子先生、横浜市立山内中学校副校長の鬼丸玲子先生、学校法人すみのえ学園すみのえ幼稚園の日下部香苗先生からお話をいただきました。先生方から、子どもたちの活動支援、特別支援学級や通常級の教科の授業支援、行事や宿泊体験学習の補助等で活動する学生の姿について、「教師の役割は、家庭から預かった子どもたちの安全や命を守ること」「子どもの変化、子どものつぶやきに敏感に。純粋な子どもの姿に純粋にかかわること」「インターンシップの機会を生かして考えたり学んだり挑戦したりしてほしい」等、心にひびく言葉をいただきました。また、受け入れ校・園や学校から19名の先生方にご参加いただき、校種別に分かれた分科会では、「教育インターンシップの経験を教育実習にどう生かすか」のテーマのもと、先生方からのアドバイスを参考に活発な意見交換を通し学びを深めました。



未来塾

開講講座は「7講座」、延べ受講者数は「472名」でした

| 担当・講座名 | 開講回数・受講者数 (令和元年12月末日現在) |
|---|--|
| 石川清明 先生・夏秋英房 先生・野本茂夫 先生の 講座 子ども学研究会 | 25回開講、延べ受講者数98名 令和2年1月8日、2月7日 開講予定 |
| 高山真琴 先生の 講座1 教採対策ピアノ講座(小学校受験者対象) 講座2 教採対策ピアノ講座(幼稚園・保育園受験者対象) 講座3 ピアノ講座 | 11回開講、延べ受講者数30名 20回開講、延べ受講者数275名 26回開講、延べ受講者数64名 令和2年1月以降6回開講予定 |
| 原 英喜 先生の 講座1 泳げる指導者になろう!! 講座2 臨海学校見学と海体験 講座3 雪の環境とスキーを体験理解する | 2回開講、延べ受講者数3名 千葉県館山市 8月に2泊3日 受講者数2名 長野県志賀高原一の瀬 2月に2泊3日予定 |